

1 支援物資の受入れ

(1) 支援物資受入場所

支援物資の受入場所について、市民や企業からの支援物資は、旧大名小学校とし、国の要請に伴い被災地へ輸送する国の支援物資は、青果市場跡地を提供し、福岡市は国の支援物資の保管・管理を行うとともに、国によるトラック、自衛隊ヘリなどを使用した被災地への輸送に際し、搬入・搬出支援を行った。

旧大名小学校における支援物資の受入れを行う際には、受入品目毎に教室を割り当てるなどし、受入れの段階で仕分けが完了する仕組みを構築。作業の効率化とともに、被災地における受入時の仕分け作業の負担軽減を図った。

なお、熊本市が4月21日（木）正午をもって、支援物資の受入れを中断したことに伴い、21日（木）に旧大名小学校における支援物資の受入れを中断（すでに市民等から発送された支援物資の受入れに対応するため、22日（金）までは受入れを実施）。その後、旧大名小学校の支援物資については、すべて青果市場跡地に集約した。

① 旧大名小学校（福岡市中央区大名2丁目6番11号）

開設 平成28年4月17日（日）13:00

閉鎖 平成28年4月22日（金）20:00

② 青果市場跡地（福岡市博多区那珂6丁目23番1号）

開設 平成28年4月19日（火）8:00

閉鎖 平成28年7月25日（月）17:00

(2) 支援物資受入品目の指定

被災地における支援物資受入れの負担軽減策として、支援物資について熊本市の要望等を考慮し、以下の品目に限定し、受入れを行った。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① 毛布 | (4月17日（日）まで) |
| ② ペットボトルの水 | (4月19日（火）まで) |
| ③ トイレットペーパー | (4月19日（火）まで) |
| ④ おむつ（こども用，大人用） | (4月19日（火）まで) |
| ⑤ タオル | (4月19日（火）まで) |
| ⑥ 生理用品 | (4月19日（火）まで) |
| ⑦ ウェットティッシュ | (4月18日（月）から) |
| ⑧ 栄養補助食品 | (4月18日（月）から) |

(3) 物資の受入品目及び数量

① 旧大名小学校

品目	数量	品目	数量
ペットボトルの水	10,229 箱	生理用品	2,350 箱
トイレットペーパー	3,992 箱	簡易トイレ	274 箱
ティッシュペーパー	296 箱	ウェットティッシュ	1,375 箱
おむつ	5,001 箱	栄養補助食品	1,393 箱
タオル	968 箱	お茶・ジュース	266 箱
タオルケット	219 箱	その他（粉ミルク、紙コップ等）	313 箱
毛布	176 点	合 計	26,852 点

② 青果市場跡地

ア 国の支援物資

品目	数量	品目	数量
ペットボトルの水	8,186 箱	凝固剤（簡易トイレ用）	119 箱
化粧水	8,311 箱	その他（マット等）	147 箱
マスク	2,061 箱		
簡易トイレ	924 箱	合 計	19,748 箱

イ 市民や企業からの支援物資（4月21日（木）から受入れ）

品目	数量	品目	数量
ペットボトルの水	3,495 箱	生理用品	230 箱
トイレットペーパー	269 箱	ウェットティッシュ	773 箱
ティッシュペーパー	1 箱	栄養補助食品	824 箱
おむつ	720 箱	お茶・ジュース	50 箱
タオル	86 箱	その他 （粉ミルク、紙コップ等）	3,206 箱
毛布	34 箱	合 計	9,688 箱

※数量は段ボール箱数

(4) 支援物資の受入ボランティア

支援物資の受入れにあたっては、ボランティアの協力を得ることで、被災地に迅速に物資を届けることができた。

① 参加状況

期 間	場 所	延べ人数	合 計
4月17日(日)～25日(月)	旧大名小学校	2,161 人	2,209 人
4月22日(金)～25日(月)	青果市場跡地	48 人	

② 活動内容

物資の受付け・仕分け・梱包、来場者の誘導・案内・運搬の補助、駐車場の場内整理、トラックへの物資の積み込み



【旧大名小学校の受入品目表示】



【物資を受入れた教室の様子】



【サイズ別に受入れるおむつ】



【SNSで追加支援を呼びかけた物品】



【青果市場跡地での物資受入状況】

2 支援物資の搬送

(1) 福岡市による搬送

① 支援物資の搬送は、トラックによる陸路が主な手段であったが、初動の段階では、迅速な対応を行うため、消防や自衛隊のヘリを使用した空輸や民間の貨物船を使用した海上輸送なども関係機関協力のもと実施した。

なお、トラック輸送については、公益社団法人福岡県トラック協会と締結した「災害時における車両による緊急輸送等に関する協定書」に基づき行われた。

ア 市民・企業等から寄せられた支援物資の搬送

搬送時期	品目	数量	搬送手段	搬送場所
4/17(日)	ペットボトルの水	35 点	ヘリ(消防)	熊本県民総合運動公園
	カップめん(サンポー食品(株)提供)	1,000 食	庁用車	熊本市役所
4/18(月)	ペットボトルの水, おむつ, ウエットティッシュ	20 点	ヘリ(消防)	熊本空港
4/18(月) 4/29(金)	おむつ, タオル, 毛布, 栄養補助食品, ペットボトルの水, トイレットペーパー, 生理用品	6,774 箱	トラック (トラック協会)	東部浄化センター (～4/28) うまかな・よかなスタジアム (～4/29)
4/19(火)	栄養補助食品	77 点	ヘリ(消防)	白川河川敷 (中央区本山2丁目)
	ペットボトルの水	120 箱	トラック (環境局)	別府商業高校
	おむつ	60 箱		
	ペットボトルの水	107 箱	トラック (環境局)	由布市役所 庄内庁舎
	生理用品	9 箱		
	毛布	49 箱		
4/21(木)	カップめん(サンポー食品(株)提供)	5,000 食	庁用車	熊本市東区各避難所
	ペットボトルの水	80 箱	トラック (環境局)	竹田市役所
	毛布	37 箱		
4/22(金)	ウエットティッシュ, おむつ, タオル, 栄養補助食品, ペットボトルの水, 生理用品, トイレットペーパー, 簡易トイレ	8,812 箱	貨物船(民間)	熊本新港
5/17(火)	味噌汁(永谷園ホールディングス提供)	100 箱	トラック (民間)	J A 広安集荷所
5/21(土)	味噌汁(永谷園ホールディングス提供)	50 箱	トラック (民間)	宇土市体育館
7/25(月)	おむつ, 生理用品	740 箱	トラック (民間)	熊本市

イ 公的備蓄からの支援物資の搬送

搬送時期	品目・数量	搬送手段	搬送場所
4/15(金)	ポリタンク容器(18ℓ) 20個	庁用車	熊本市動植物園
4/16(土)	福岡市民病院備蓄物資等：患者用簡易ベッド20台、診療用エアートー式、発電機1台、毛布60枚(うち50枚は市備蓄分)、大人用おむつ200枚、水・食糧など	借上トラック等	熊本市民病院
	愛護動物用物資：エサ(犬用50kg、猫用10kg)、犬用ゲージ27個、猫用輸送カゴ4個	庁用車	熊本県有明保健所(県動物愛護センター経由)
	給水袋(6ℓ) 20,800袋	トラック(水道局)	熊本市上下水道局(20,000袋) 日田市(800袋)
	ペットボトル3,000本(「飲む海水」500ml)	トラック(水道局)	熊本市上下水道局
4/17(日)	ペットボトル5箱、缶入りパン5箱	庁用車	熊本市役所
4/18(月)	ペットボトル(2ℓ) 60本(国際会議場備蓄物資)	一般財団法人福岡コンベンションセンターによる搬送	旧大名小学校 ※市民等からの支援物資と一緒に東部浄化センターに搬送
4/20(水)	一般家庭用医薬品：鎮痛解熱剤 100個、総合感冒薬 100個、胃腸薬 100個、手指消毒薬 200個など	庁用車	熊本市総合保健福祉センター
	給水袋(6ℓ) 2,000袋	トラック(水道局)	益城町
	給水コンテナ(1トン) 2基	トラック(水道局)	西原村
4/23(土)	土嚢袋 2,000袋	ワゴン車	宇土市民体育館
4/25(月)	衛生用品等：消毒液、マスク、トイレ清掃用品など	トラック(トラック協会)	熊本市東部浄化センター
4/30(土)	給水コンテナ(1トン) 2基	トラック(水道局)	南阿蘇村



【旧大名小学校での物資積み込み】



【消防ヘリによる物資輸送】



【青果市場跡地における自衛隊ヘリでの輸送】

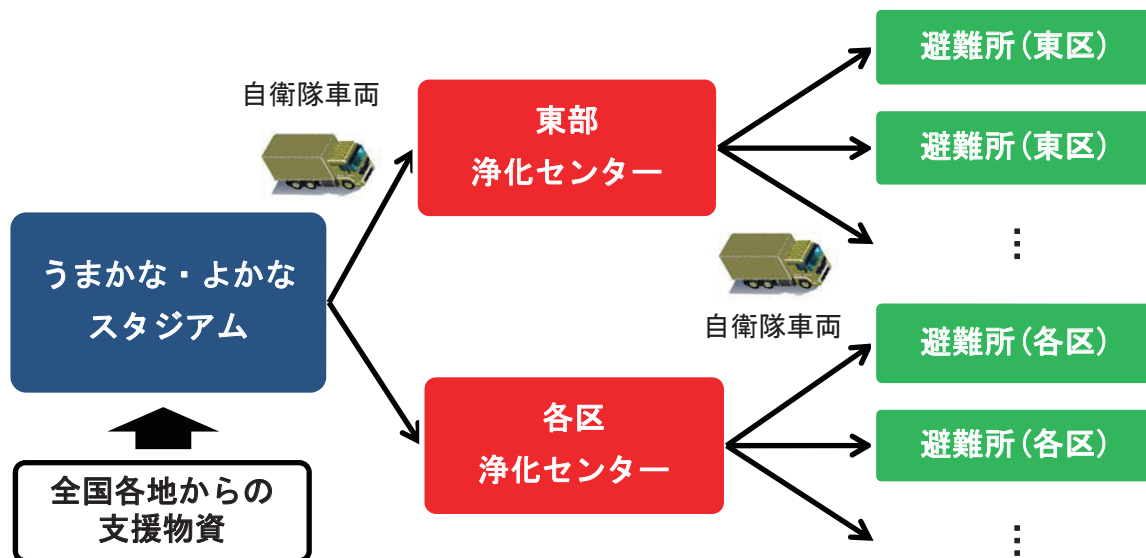


【海上輸送の物資積み込み】

② 支援物資の配送及び受入れについて

ア 熊本市の受入状況

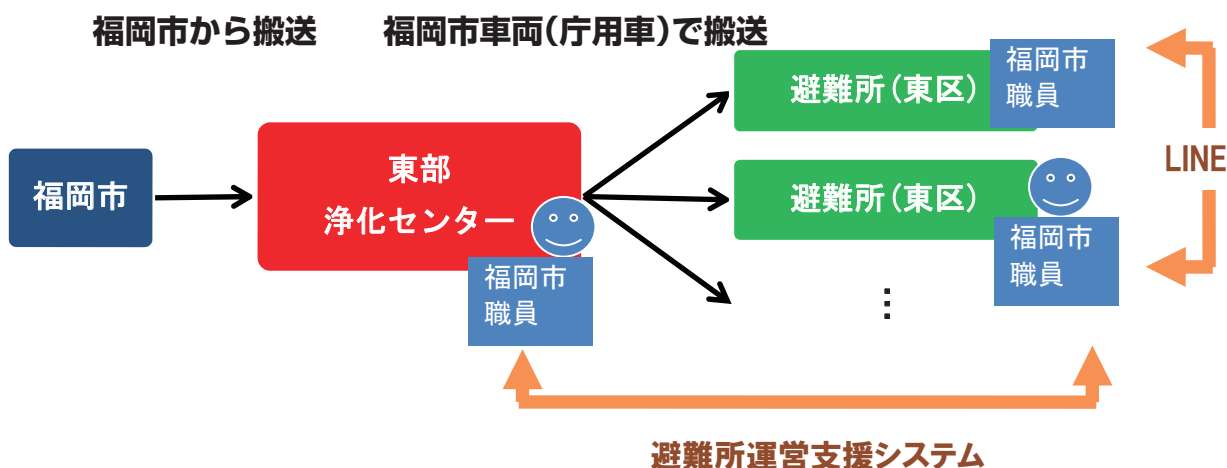
熊本市への支援物資は、一括して「うまかな・よかなスタジアム」にて受入れを行い、仕分け、整理したものを自衛隊により各区の物資拠点に輸送し、そこから各避難所への配送を行うこととしていたが、全国各地から集まった支援物資を持ち込む車両が「うまかな・よかなスタジアム」周辺で大渋滞を引き起こし、また、各地から持ち込まれる支援物資は、仕分けに多くの時間とマンパワーを必要とするなど、熊本市内の物資集積所には多数の支援物資は届いているものの、避難所には届かないという状況が発生していた。



【熊本市の支援物資受入れから避難所配送までの流れ】

イ 福岡市からの配送

「うまかな・よかなスタジアム」の状況は、4月17日（日）から派遣していた職員からの情報として把握していたため、4月19日（火）からの避難所運営支援に派遣する職員100名には、庁用車を2名につき1台を割り当て、計50台の車両により現地での物資配送が行えるようにするとともに、熊本市と調整し、福岡市で受入れた支援物資を東区の物資拠点である「東部浄化センター」へ直接運搬できるようにしたことで、「うまかな・よかなスタジアム」周辺の渋滞緩和と避難所への迅速な支援物資の配送を可能にした。





【うまかな・よかなスタジアムに集積された物資】



【庁用車による配送】

③ ICTの活用などによる「自己完結型」の支援物資の配送について

発災当初の避難所においては、食料品が不足する一方で、水やトイレットペーパーなど過剰供給される品目もあり、また、昼夜で避難者数が大きく変動するといった様々な状況の変化がある中で食料品の確保のみならず、各避難所のニーズの把握と、それに応じたきめ細かな支援物資の配送が喫緊の課題であった。

これらの課題に対し、おにぎり製造マシンの製造・販売を行う不二精機株式会社（本社：福岡市博多区）の協力により、東部浄化センターにおいて、1日に約1万個のおにぎりの製造を行い各避難所へ配布するとともに、避難所からのニーズを一元管理することができる「福岡市避難所運営支援システム」の導入と配送用のトラックを追加配備することで、食料品の確保、各避難所のニーズの把握、支援物資の定時配送という「自己完結型」の配送システムを構築することができた。加えてSNSを活用することで、避難所間での物資の融通や生活情報などの情報共有を行った。

なお、支援物資の供給状況は逐次改善するとともに、炊き出し等の支援も各避難所で行われ始めたため、おにぎりの製造は、4月21日（木）には製造量を半減させ、4月25日（月）をもって終了した。

ア 福岡市避難所運営支援システム

今回の地震を受け、クラウド上に新たに構築された物資供給のシステム。

避難所で必要とされる物資の品目及び数量を、派遣された職員がスマートフォンで特定のURLへアクセスし入力すると、東部浄化センターに設置した端末等で全ての避難所の情報が確認できる仕組み。このシステムにより各避難所の要望に応じたきめ細かな支援物資の準備から迅速な配送を可能とした。

なお、本システムは、「地域共働事業に関する包括連携協定」を締結している日本電信電話株式会社（NTT）の協力により構築、4月23日（土）から運用が開始された。

イ SNS（LINE）

「福岡市避難所運営支援システム」を補完するかたちで各避難所間でのリアルタイムでの情報交換を行うためのツールとして、スマートフォンのコミュニケーションアプリである「LINE（ライン）」を活用。避難所間での物資の融通を行うことができた。

避難所名	住所	担当者名	コメント	更新日時
健康小学校	熊本市東区健康2丁目25-56		4/26 10:00時点で依頼がありました分については下記の通りです。紙コップ500個は午前中より順次配送予定です。	2016/05/10/17:11:02
健康東小学校	熊本市東区東町4丁目15-2		4/24 16:00時点で依頼がありました分の現在の状況です。・使い捨てポリ手袋・20L取っ手付ポリバケツは在庫不足のため配送できません。熊本市へ依頼調整しております。申し訳ございません。	2016/05/10/17:11:02
尾ノ上小学校	熊本市東区尾ノ上2丁目8-1		4/26 16:00時点で依頼があった件については、順次配送予定です。4/27 10:00時点で依頼があった件については、在庫がなく配送できません。	2016/05/10/17:11:02
山ノ内小学校	熊本市東区山ノ内4丁目1-1		2016/05/10/17:11:02	2016/05/10/17:11:02
月出小学校	熊本市東区月出6丁目2-40		4/23 14:47時点で依頼があった件についての配送状況。ウェットティッシュ・50個マスク・100枚・17:00浄化センターへ配送済みです。	2016/05/10/17:11:02
東町小学校	熊本市東区東町3丁目3-1		4/26 16:00時点で依頼があった件については下記の通り配送予定です。・ペーパータオル・20個・スプレータイプアルコール除菌・料理用手袋使い捨てはなし（連絡済み）	2016/05/10/17:11:02
東陵高校	熊本市東区小峰3丁目1		給虫剤については、在庫不足のため配送できません。	2016/05/10/17:11:02
東部中学校	熊本市東区上南郷2丁目21-4		2016/05/10/17:11:02	2016/05/10/17:11:02

【避難所運営支援システム（右は管理画面）】



【職員間SNS】

ウ 民間企業とのタイアップ

福岡市職員の避難所運営にあわせて、市内のおにぎり製造マシン制作会社（不二精機株式会社、福岡市博多区）とタイアップし、熊本市南区の工場で製造したおにぎりを一度「東部浄化センター」へ持ち込み後、各避難所に配布した。

- ・製造期間：4月19日（火）～4月25日（月）
- ・製造能力：7,000～11,000個／日

④ 他都市への引継時の状況

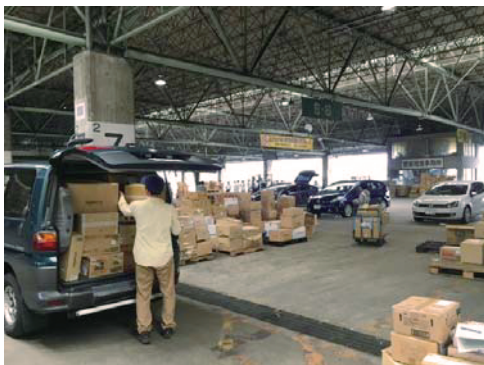
「支援物資は、すべて「うまかな・よかなスタジアム」から各避難所へ直接配送する」という熊本市の方針変更により、4月22日（金）から各区浄化センターの支援物資は、「うまかな・よかなスタジアム」に順次集約されている状況にあった。したがって、福岡市による避難所支援終了の4月27日（水）をもって東部浄化センターを閉鎖した。

(2) NPO等への物資提供による支援

被災者の状況は、公園などに自主的に避難して車中泊をしている人や、避難所へも行けずに孤立している高齢者など様々であり、このような状況におかれている被災者にも、きめ細かに物資を行き渡らせることができるよう、4月22日（金）から、被災地での支援活動に向かうNPOや企業、個人に対して、旧大名小学校等に届けられた物資の提供を行った。

物資提供の申請はメール、活動報告は団体等のホームページやSNSでの情報発信をもって代えることができる、きわめて簡易な手法とし、必要な物資が迅速に被災者に届けられる、NPO等と共働した自己完結型の支援を実現した。

期間	提供物資	提供数	搬送先
4月22日 （金） ～ 7月17日 （日）	水、おむつ、生理用品、トイレットペーパー、タオル、毛布、栄養補助食品、ウェットティッシュなど	89団体・個人 （延べ174回） 18,700箱	熊本市、西原村、益城町、南阿蘇村ほか被災各地 （避難所のほか、車中泊者やテント泊者、医療施設など）



【NPOによる物資積み込み】



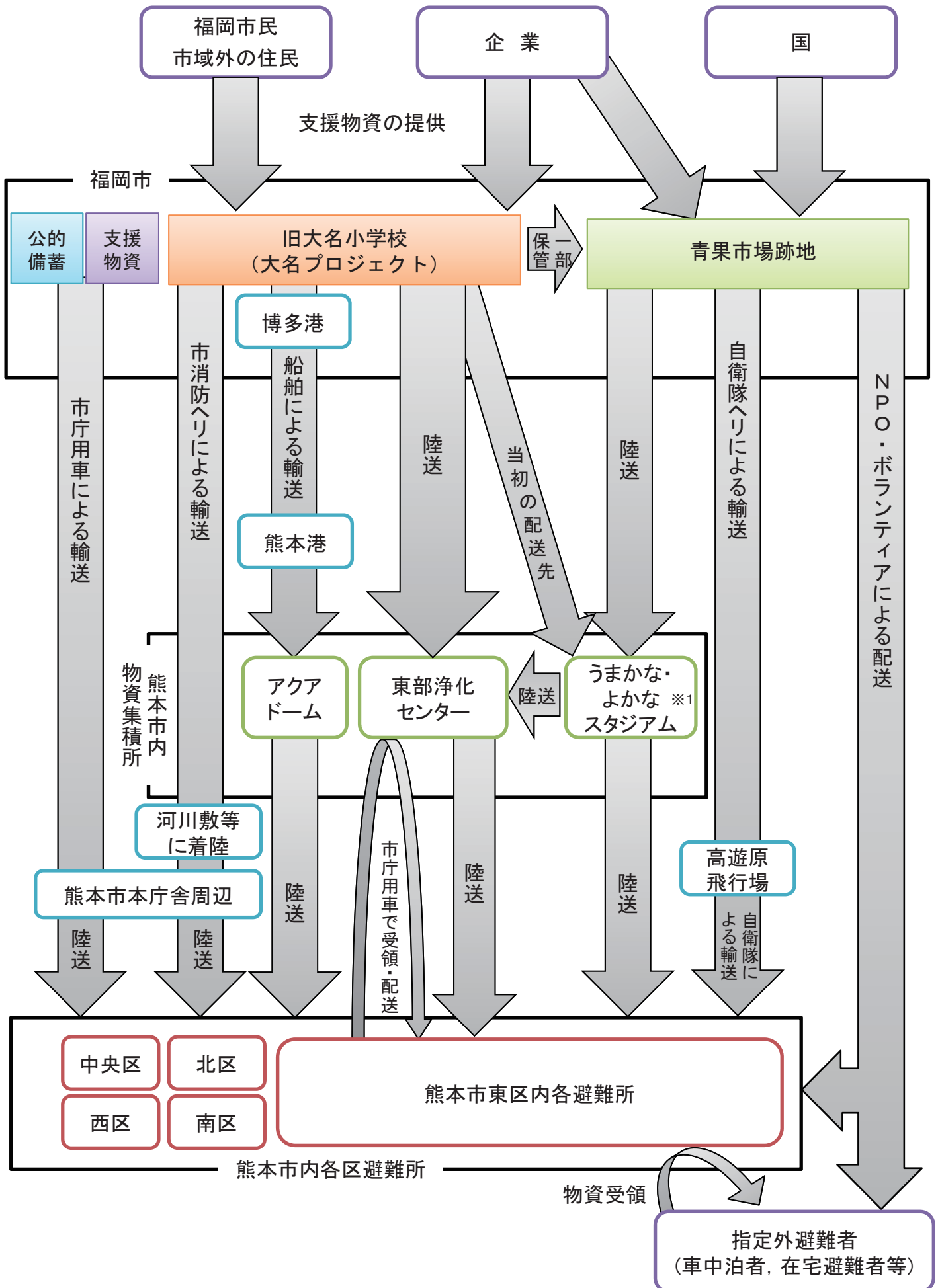
【物資はテント泊者などに届けられた】

○ NPOによるSNSでの活動報告



【現地の様子もまじえて報告された】

物資の受領・配送の流れ



第3部

支援活動の記録

第4章

第3節 物的支援

※1 平成28年12月31日現在での名称